

いわて復興だより

がんばろう！岩手 つながろう！岩手

三陸復興

第 68 号

平成 26 年 8 月 1 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

全国で梅雨明けし、暑い夏と共に、人々も活気づく今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手の明るい今を紹介します。

吉里吉里海岸海水浴場が4年ぶりに復活

大槌町

東日本大震災津波の被害を受けた本県の海水浴場が、新たに3ヶ所復活し、本格的な海水浴シーズンを迎えました。

4年ぶりに復活した海水浴場は、普代浜（普代村）、荒神（山田町）、吉里吉里海岸（大槌町）。

このうち、7月26日（土）には吉里吉里海岸で、釜石・大槌地域で震災後初の再開となる海開きが行われました。

同日は、チームごとに砂で作った作品を競う「砂の芸術祭」や、スタンドアップ・パドルサーフィン、シーカヤックの無料体験会など地元有志が企画したイベントが行われ、多くの家族連れで賑わいました。

遊泳期間は8月10日まで。時間は午前8時半～午後3時。海岸には簡易トイレを設置し、近くに駐車場、シャワー設備も用意されています。

本格的な夏を迎え、水産業の復興と共に、沿岸地域の観光面での復興に期待が寄せられています。



「砂の芸術祭」での作品（「南部鼻曲がり鮭」）



海水浴を楽しむ子どもたち



パドルサーフィン無料体験の様子

洋野町 大野地区中心街

『鳴雷神社例大祭』

- ▶ 8月17日（日）～19日（火）
- ▷ 山車、みこし、流し踊りなど。

野田村 中心部および役場前広場

『愛宕神社例大祭 野田まつり』

- ▶ 8月22日（金）～24日（日）
- ▷ 山車、みこし、よさこい、盆踊りなど。

久慈市 山形町川井地区

『ガタゴンまつり』

- ▶ 8月20日（水）
- ▷ 地元有志による「なにやどやら流し踊り」等の郷土芸能、みこし、山車など。

久慈市 荒町から本町の目抜き通り

『久慈秋まつり』

- ▶ 9月19日（金）～21日（日）
- ▷ 山車、みこしなど。県北一の華やかさを誇る。

夏のイベント情報

岩手県内の沿岸地域で開催されるイベント情報です。是非、おでかけください！



釜石市 大町～只越

『釜石よいさ』

- ▶ 8月9日（土）
- ▷ 釜石よいさ、餅まき、抽選会、桜舞太鼓 with 秋風センチメンタル コラボステージなど。

普代村 普代駅前

『ふだいまつり』

- ▶ 9月5日（金）～7日（日）
- ▷ からくり山車、花火、郷土芸能、チャグチャグ馬コ、カラオケ大会など。

陸前高田市 気仙町八日町通り跡地周辺

『けんかセタまつり』

- ▶ 8月7日（木）
- ▷ 山車、太鼓など。山車をぶつけ合い「けんか」をする祭り。

田野畑村 羅賀漁港（発着所）

『夏のサッパ船パワフル運航』

- ▶ 7月～9月の毎土日祝開催
- ▷ 小型の磯舟で、漁師の航行を体験し陸中海岸の断崖景観を鑑賞。大人 3,500 円、小学生以下無料（子供1人につき大人1人の同乗が条件）

田野畑村 島越漁港（発着所）

『北山崎断崖クルーズ』

- ▶ 7月26日（土）～11月頃
- ▷ 震災津波により運休中止となっていたが、新クルーズ船で運行再開。景勝地・北山崎の迫力ある景観が楽しめる。大人 1,460 円、小人 730 円



「e!いわて（いわてつながり情報局）」は、復興に関連する岩手のニュースや情報を知ることのできるアプリです。

入手した情報は Twitter や Facebook に投稿しシェアすることができます。

以下の OS を搭載したスマートフォンでご利用いただけます。

・ Android OS4.0 以降、iOS6.0 以降

詳しくは

いわてつながり情報局

検索



県内初の実施 木造一戸建て応急仮設住宅を入居者へ払い下げ

住田町

住田町は、東日本大震災津波の被災者向けに建設した木造一戸建て応急仮設住宅を入居者に払い下げを決めました。

払い下げは、入居者の要望に応える形で実現されたもので、現入居者及び元入居者を対象とし、別の土地に建てなおすことを条件としています。

販売価格は、付帯する太陽熱温水器、エアコン、浴槽、トイレ、キッチン等を含め1棟3万円。ただし、解体や運搬、移設にかかる費用は購入者の自己負担となります。

同町は、発災後、町単独で全国初となる木造一戸建て応急仮設住宅を3カ所（火石、本町、中上）に計93戸を整備しました。町の特産のスギを使用した木造一戸建て応急仮設住宅は、2DK、広さ約30平方メートル。プライバシーが守れ、木のぬくもりが感じられると建設当初より県内外から注目されました。

同町は、払い下げについて「解体して別の土地に建て

直す費用は100万円以上と見込まれる。家屋に傷みなどがあって再建が難しい場合には、払い下げに応じられないケースも出てくるが、入居者から要望があれば、随時相談に応じていきたい。」と話しており、入居者の生活再建の支援を続けています。



払い下げの対象となる住田町の仮設住宅

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第22回目は、田村華恵さんを紹介します。

PROFILE

大船渡市大船渡町出身

東日本大震災発災当時は、高校生3年生。

内定を頂いていた宮城県の会社に就職したが、2012年4月に地元に戻り、大船渡災害FMの求人に応募、パーソナリティを務める。

2013年4月よりFMねまらいんでパーソナリティを務め、現在に至る。

未来の さんりく びと

NPO法人
防災・市民メディア推進協議会
FMねまらいん パーソナリティ
田村 華恵
(たむら はなえ) さん



田村さんからのひと言：
大船渡の情報をこれからも発信していきます!!
ねまってきがつせん♪

ティFMに移行する話が固まり、2013年4月にFMねまらいんが開局。田村さんもこれに合わせ、スタッフとなりました。

心の復興をサポートしたい

災害FMの時は、自衛隊のお風呂の提供時間や、商店の開店時間など、明日を生きるための必要な情報提供が多かったそうです。今のFMねまらいんでは、少しでも皆さんに笑ってもらえるような娯楽性の高い番組も取り入れているとのこと。

「大船渡は復興に向けて頑張っている最中ですが、私たちがラジオを通してできることは、FMねまらいんを聴くのを楽しみにしている方々に喜んでもらったり、大船渡を離れていても、大船渡っていいなと感じてもらえるよう放送を続けていくこと。」と田村さんは語ります。

街づくりなど、目に見える復興が進む一方で、未だ先の生活に不安を持つ人もいます。そんな地域の方々の心の復興のために、今日も田村さんは、素敵な声で大船渡の情報を伝え続けます。

震災の時、ラジオの大切さを知った

震災の時、明かりのない中でもラジオを毎晩聞いて、ラジオの大切さに感銘を受けた田村さん。自分もラジオの仕事がしたくなり、大船渡災害FMに応募し、パーソナリティを務めていました。

災害FMは臨時災害放送局のため期限が限られていましたが、災害が起きた時に頼りになるメディアとして、恒久的に続けられるコミュニ

岩手県の被害状況

平成26年6月30日現在

- ▶人的被害 死者（直接死）：4,672名 行方不明者：1,132名
- ▶建物被害（住家のみ、全半壊） 25,706棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

平成26年6月30日現在

- ▶義援金受付状況 約181億4,860万円（89,415件）
- ▶寄付金受付状況 約195億6,901万円（6,860件）
- ▶いわての学び希望基金受付状況 約68億6,918万円（13,608件）

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!! <http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第68号 平成26年8月1日号 企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス